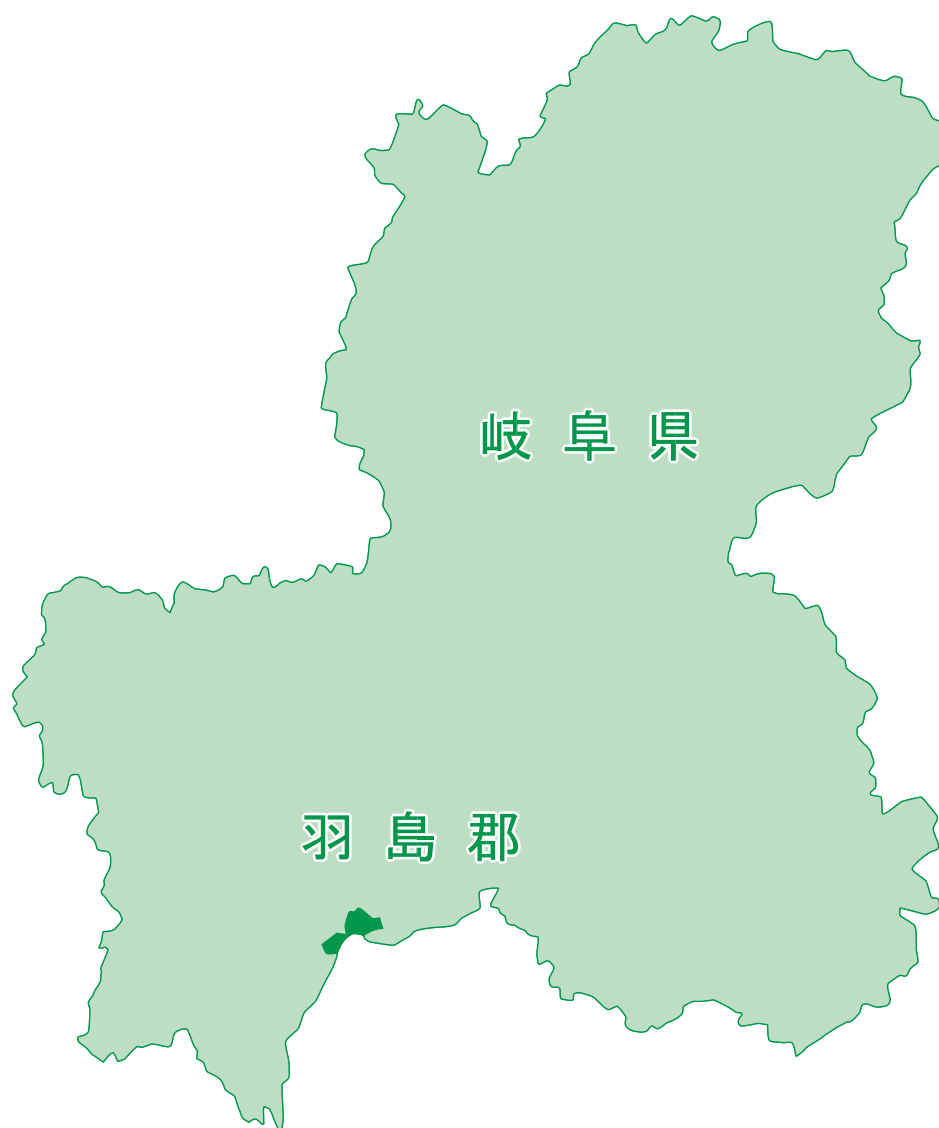


消 防 年 報

令和 5 年版



令和 6 年刊行

羽 島 郡 広 域 連 合

は し が き

近年、社会経済のめざましい発展により地域住民の生活環境は年々都市化するとともに情報化、少子高齢化等への進行も著しいものがあり、これに伴い各種災害の発生も増加し、発生する災害の様相もますます複雑多様化してまいりました。

このような状況の中、羽島郡広域連合は、住民の皆様方にとって安全で住みよい地域社会の確立のため警防、予防、救急、救助、通信指令体制の充実強化に努めているところであります。

本年報は、令和5年中の羽島郡広域連合における火災予防、救急・救助活動等の概要をまとめたものです。本書をご高覧いただき、消防行政についての認識を深めていただき、ご理解を賜れば幸いに存じます。

また、この年報中の資料については、暦年をもって表し、予算関係は会計年度とします。また、平成13年度以前の資料については、前身の羽島郡消防事務組合のものを使用しております。

令和6年8月

羽 島 郡 広 域 連 合

岐 南 町 章



「岐南」の「G」を基本に、「岐南町」が未来へ向かって力強く躍進するすがたを表現したものです。

笠 松 町 章



カサと松葉模様で町名を斬新にえがき、円は親和協調を、円内の鋭角は町の躍進と栄光の道を力強く表現したものです。

目次

連合のあゆみ	1～4
組合の歴史	5～10

(連合管内情勢)

連合の位置・地勢	11
構成町の概要	11
消防署の概要	12
管内(署・団車庫)配置図	13

(連合組織・機構)

連合組織	14
連合構成町	14
連合執行組織	14
連合議会構成	14
連合監査委員構成	14
連合選挙管理委員構成	14
連合選挙管理委員補充員構成	14
公平委員会構成	14
連合組織図	15
消防本部・消防署事務分掌表	16～17

(予 算)

連合一般会計予算の概要	18
各町一般会計予算及び消防予算の割合	19
人口・世帯に対する消防予算と連合予算	19
連合一般会計予算の推移(当初)	19

(消 防 情 勢)

消防力の整備指針と現有消防力の比較	20
連合消防職員数	21
年別職員数	21
職員の配置状況	21
職員年齢別状況	22
職員階級別状況	22
職員在職年数別状況	23
職員住居地状況	23
職員技能資格取得状況	24
消防相互応援協定締結状況	25
隣接消防本部との応援出動状況	26

(施 設 機 械)

消防車両総括表	27
消防車両配置状況	27
主要機械器具等保有状況	28～30
高機能消防指令システム	31
消防通信系統図	32
消防通信・火災通報施設	33
管内消防用水利の現況	34

(火災状況)

火災統計	35
町別火災発生状況	36
町別火災件数及び損害額等状況表	36
町別・月別出火件数表	37
町別出火原因表	37
四季別出火件数	38
時間帯別出火件数	38
曜日別出火件数	39
覚知別出火件数	39
5年間の火災件数及び損害額比較表	40
最近の焼死者発生状況	41

(救急・救助状況)

救急統計	42
町別救急出場状況	43
署別救急出場件数	43
月別・種別救急出場件数及び搬送人員	44
月別救急出場件数と搬送人員	45
曜日別救急出場件数と搬送人員	45
発生場所別搬送人員	46
管内管外別搬送人員	46
傷病程度別搬送人員	46
年齢別搬送人員	47
医療機関別搬送人員	47
現場到着所要時間状況	48
発生時間帯別救急出場件数	48
5年間の救急出場件数と搬送人員	49
5年間の町別救急出場件数	49
応急手当普及啓発活動状況	50
普通救命講習実施状況	50
救助統計	51
事故種別出動件数と活動件数	51
事故種別出動人員	51
事故種別出動車両等台数	52
事故種別発生場所別救助人数	52
町別・月別救助出動件数	53
5年間の救助出動状況	53

(通信・気象状況)

119番受信状況	54
救急医療情報システム案内状況	54
年間気象状況	54
警報・注意報発令日数	55

(予 防 行 政)

消防用設備等設置状況	56
火災予防条例関係届出状況	57
甲種防火管理新規講習修了者数	57
甲種防火管理再講習修了者数	57
町別3階以上の建物状況	58
建築工事種別・月別同意状況	58
建築物用途別同意状況	59
消防・防災広報実施状況	60

(危 険 物 行 政)

危険物製造所等施設数	61
危険物各種申請・届出状況	62
危険物製造所等許可・検査状況	62
類別危険物製造所等の数調	63
危険物製造所等の数並びに施設指導状況	64
プロパンガス施設数	64

(高圧ガス保安法・液化石油ガス法) 火 薬 類 取 締 法 行 政

高圧ガス保安法・液化石油ガス法・火薬類取締法関係事業所数

65～66

(消 防 団) 消 防 ク ラ ブ

羽島郡下各町消防団機構	67
羽島郡下消防団現勢表	68
消防団員階級別人員表	68
消防団員報酬支給状況表	69
消防団員諸手当支給状況表	69
年齢別消防団員数	70
在職年数別消防団員数	71
職業別消防団員数	72
消防団車両一覧表	73
幼年消防クラブ	74
幼年消防クラブ一覧表	75

連 合 の あ ゆ み

羽島郡4町が国の広域行政推進に沿って一部事務組合の体制について見直し、新たに公平委員会に係る事務を共同処理すると共に地域住民へのサービス向上と、地方分権時代に相応しい機関となるよう検討を重ねた結果、平成14年3月31日をもって羽島郡消防事務組合を解散し、平成14年4月1日に羽島郡広域連合を設立した。

平成14年4月1日	羽島郡広域連合設立（羽島郡4町、川島町・岐南町・笠松町・柳津町） 初代連合長 広江正明就任 初代消防長 杉山義則就任
6月	モバイル（災害情報配信サービス）運用開始
11月	消防ポンプ自動車(CD-1)1台購入 西消防署に配置 査察広報車を購入 消防本部に配置
12月	潜水用ドライスーツ 3着購入 （14年中 退職者1名、新採用者4名、職員数103名）

平成15年2月	防衛施設庁補助で救助工作車1台購入、西消防署に配置
8月	羽島郡広域連合IT関連整備事業（第1期）
9月	羽島郡広域連合公式ホームページ開設 東消防署幕板・ホース乾燥塔塗装工事 柳津分署浴室・便所改修工事
10月	消防本部上下水道整備工事 西消防署食堂改修工事
11月	緊急通報用FAXを設置、運用開始
12月	潜水用ドライスーツ 3着購入 （15年中 退職者1名、新採用者3名、職員数105名）

平成16年6月	西消防署倉庫・東消防署及び柳津分署屋根塗装工事 消防本部望楼スラブ剥離補修工事
11月	川島町が各務原市と合併（各務原市が旧川島町区域の消防事務に関し 広域連合に加入する） 羽島郡広域連合IT関連整備事業（第2期） 岐阜県総合防災情報システム端末関連整備事業
12月	潜水用ウェットスーツ 3着購入 （16年中 退職者3名、新採用者3名、職員数105名）

平成17年3月	各務原市川島地区が羽島郡広域連合より完全脱退
11月	消防本部庁舎非常用発電機更新工事 西消防署柳津分署改修工事
12月	携帯119番通報受付転送装置設置 （17年中 各務原市移行職員17名、新採用者3名、職員数91名）

平成18年1月	柳津町が岐阜市と合併 岐阜市と消防相互応援協定を締結
3月	初代 消防長 杉山義則退任
4月	二代目消防長 森 一男就任
8月	西消防署指令車購入 本部庁舎耐震補強計画作成
10月	西消防署救急室設置 (18年中 岐阜市移行職員19名、退職者6名、新採用者4名 職員数70名)
平成19年1月	高速道路における消防相互応援協定を締結 木曾川流域消防相互応援協定を締結
2月	本部庁舎耐震補強工事(第一期基地局空中線移設工事)
11月	水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)1台購入 西消防署に配置 (19年中 退職者0名、新採用者5名、職員数75名)
平成20年3月	本部庁舎耐震補強工事(第二期望楼外解体工事) 岐阜県内の高速道路における消防相互応援協定書・覚書を締結
5月	ゴムボート、船外機購入 西消防署に配置
9月	本部庁舎耐震補強工事(第三期本部庁舎耐震補強工事)
10月	簡易端末型携帯電話・IP電話発信位置情報通知システム受信装置設置
11月	連絡車(ハイブリッド車)購入 消防本部に配置 (20年中 退職者4名、新採用者3名、職員数74名)
平成21年2月	東消防署非常用発電設備設置工事
3月	消防本部庁舎ハンガードア等取替工事 二代目消防長 森 一男退任
4月	三代目消防長 柴田利彦就任
5月	水難救助隊発足
9月	庁内LANネットワークシステム機器更新 (21年中 退職者2名、殉職者1名、新採用者3名、職員数74名)
平成22年3月	水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)1台購入 東消防署に配置 空気ボンベ用移動式コンプレッサー購入 西消防署に配置
6月	庁内LANパソコン機器等更新
9月	(22年中 退職者2名、新採用者3名、職員数75名)
平成23年1月	屈折はしご付消防自動車 1台購入 西消防署に配置
2月	高規格救急自動車 1台購入 東消防署に配置 東消防署北車庫新築工事
10月	資材搬送車 1台購入 西消防署に配置
12月	西消防署車庫南側オーバースライディングドア取付工事 (23年中 退職者3名、新採用者1名、職員数73名)

平成24年2月 10月	西消防署訓練棟外部改修工事 東消防署車庫南側オーバースライディングドア取付工事 東消防署車庫北側ハンガードア取付工事 (24年中 退職者0名、新採用者2名、職員数75名)
平成25年2月 3月 4月	救助工作車 1台購入 東消防署に配置 消防救急デジタル無線整備工事 三代目消防長 柴田利彦退任 四代目消防長 小野木武光就任 (25年中 退職者4名、新採用者4名、職員数75名)
平成26年2月 3月 7月 12月	高規格救急自動車 1台購入 西消防署に配置 空気式救命索発射銃購入 西消防署に配置 ゴムボート購入 東消防署に配置 人員搬送車購入 消防本部に配置 (26年中 退職者3名、新採用者3名、職員数75名)
平成27年1月 9月 10月 11月 12月	消防ポンプ自動車(CD-1) 1台購入 東消防署に配置 東消防署指令車購入 羽島郡広域連合例規データシステム化 レサシアンシミュレーターSimPad版購入 査察広報車購入 消防本部に配置 西消防署指令室改修工事 (27年中 退職者1名、新採用者1名、嘱託員1名、 総職員数76名)
平成28年3月 4月 9月 12月	高機能消防指令センター整備工事 四代目消防長 小野木武光退任 五代目消防長 川村 勇就任 (4月1日現在 退職者1名、新採用者1名、嘱託員1名、 総職員数76名) 行政不服審査会設置 庁内LANパソコン機器等更新 東消防署塗装・照明(LED化)改修工事 (28年中 退職者2名、新採用者1名、職員数74名)
平成29年1月 3月 6月	固定資産台帳を整備 高規格救急自動車 1台購入 西消防署に配置 本部庁舎第1期改修工事 本部庁舎電話交換機一式更新工事 西消防署駐車場消防水利設置工事 財務会計システム導入 (29年中 退職者1名、新採用者2名、職員数75名)

平成30年3月	化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）1台購入 西消防署に配置 本部庁舎第2期改修工事 本部庁舎屋内外階段照明設備改修工事
4月	五代目消防長 川村 勇退任 六代目消防長 川瀬敏也就任 （30年中 退職者3名、新採用者1名、職員数73名）
平成31年3月	本部庁舎第3期改修工事 東消防署車庫及び訓育室照明（LED化）改修工事
4月	指揮隊運用開始
令和元年6月	初代 連合長 広江正明退任
7月	二代目連合長 古田聖人 就任
9月	庁内LANサーバ更新
10月	東消防署車庫屋根・ホース乾燥塔塗装工事 （31年／元年中 退職者4名、新採用者6名、職員数75名）
令和2年2月	消防ポンプ自動車（CD-1）1台購入 西消防署に配置
3月	新型コロナウイルス感染症患者の移送にかかる覚書を締結
	本部庁舎南・西外壁塗装防水工事
9月	岐阜東南ロータリークラブより無人航空機（ドローン）2台寄贈を受け 西消防署・東消防署に各1台配置
10月	無人航空機（ドローン）運用開始
12月	指揮車 1台購入 西消防署に配置 （2年中 退職者3名、新採用者1名、職員数73名）
令和3年1月	高規格救急自動車1台購入 東消防署に配置
3月	六代目消防長 川瀬敏也退任
4月	七代目消防長 横山稔雄就任
	NET119緊急通報システム導入
7月	羽島市消防本部と屈折はしご付消防自動車の運用委託に係る消防応援協定を締結
9月	庁舎内LANパソコン機器等更新
11月	東消防署外壁改修工事 （3年中 退職者3名、新採用者5名、再任用者1名、職員数76名）
令和4年3月	本部庁舎第1期改修工事 高機能消防指令センター部分更新
11月	連絡車（ハイブリッド車）購入 消防本部に配置 （4年中 退職者3名、職員数73名）
令和5年3月	本部庁舎第2期改修工事 高機能消防指令センター部分更新
10月	自動心臓マッサージ機 1台購入 東消防署に配置
11月	ゴムボート購入 西消防署に配置 （5年中 新採用者3名、職員数76名）

組 合 の 歴 史

昭和43年11月11日	<p>羽島郡消防事務組合発足(羽島郡下4町、川島町・岐南町・笠松町・柳津町) 初代管理者 加藤文治就任 初代消防長 森 晃就任 消防本部・消防署(1署3分署)の発足 笠松町消防本部庁舎、消防車両、器具等を借用 岐阜南ライオンズクラブから救急自動車1台寄贈を受け、消防署に配置 人命救助用ロープ・発射銃購入 (43年中 笠松町役場から25名組合へ出向、職員数25名)</p>
昭和44年2月 4月 5月	<p>岐阜市と消防相互応援協定を締結 川島町・岐南町・柳津町の町当局より待機室・車庫を貸与、分署業務に入る 水槽付消防ポンプ自動車4台購入、消防署・川島分署・岐南分署・柳津分署に配置 (44年中 新採用者13名、川島町役場から3名、岐南町役場から5名、柳津町役場から2名組合へ出向、組合から笠松町役場へ1名出向、退職者1名、職員数46名)</p>
昭和45年2月 6月 9月 11月	<p>消防一斉指令装置購入、消防本部に配置 岐南分署庁舎竣工 空気呼吸器(ライフゼム)8基購入、消防署・川島分署・岐南分署・柳津分署に配備 救急車のサイレンを電子音(ピーポーサイレン)に切換 日本赤十字社岐阜県支部からB級救急自動車1台寄贈を受け、消防署に配置 (45年中 退職者2名、新採用者5名、職員数49名)</p>
昭和46年2月 3月 10月 11月	<p>柳津分署庁舎竣工 羽島郡危険物安全協会から化学消火剤寄贈を受ける ジェットシューター10組購入、消防署・川島分署・岐南分署・柳津分署に配備 消防ポンプ自動車1台購入、消防署に配置 ジェットシューター10組購入、消防署・川島分署・岐南分署・柳津分署に配備 空気呼吸器(ライフゼム)5基購入、川島分署・岐南分署・柳津分署に配備 (46年中 退職者1名、新採用者4名、川島町役場から2名出向、組合から川島町役場へ3名、柳津町役場へ1名出向、職員数50名)</p>
昭和47年1月 2月 3月 4月 5月	<p>初代管理者 加藤文治退任、二代目管理者 青井逸雄就任 羽島郡危険物安全協会から化学消火剤寄贈を受ける 川島分署庁舎竣工 初代消防長 森 晃退任 二代目消防長 小川義男就任 (47年中 退職者1名、新採用者6名、職員数55名)</p>

昭和48年2月	羽島郡危険物安全協会から化学消火剤寄贈を受ける
8月	岐阜県共済農業協同組合連合会から2B型救急自動車1台寄贈を受け、消防署に配置
10月	岐南分署に救急自動車を配置、救急業務開始
12月	消防本部・消防署建設用地として、笠松町美笠通3丁目25番地を購入(羽島警察署跡地) (48年中 退職者2名、新採用者1名、川島町役場へ1名出向、職員数53名)
昭和49年2月	羽島郡危険物安全協会から油吸着材寄贈を受ける (49年中 新採用者5名、笠松町役場へ3名出向、職員数55名)
昭和50年3月	消防本部・消防署庁舎竣工
6月	羽島郡危険物安全協会から連絡車1台寄贈を受け、消防署に配置
10月	人命救助用ロープ・発射銃購入、署に配備
11月	医療法人蘇西厚生会松波総合病院院長松波英一氏より、消防施設整備資金として100万円寄贈を受ける (50年中 退職者1名、新採用者7名、職員数61名)
昭和51年2月	羽島郡危険物安全協会から化学消火剤寄贈を受ける
11月	1.6m屈折はしご付消防ポンプ自動車1台購入、消防署に配置 岐阜南ライオンズクラブから携帯発電機1台寄贈を受け、消防署に配備 (51年中 退職者1名、新採用者2名、職員数62名)
昭和52年2月	羽島郡危険物安全協会から携帯発電機・照明灯一式の寄贈を受け、岐南分署に配備
3月	受令機60台を購入し、全職員に貸与
10月	化学消防ポンプ自動車1台購入、消防署に配置 (52年中 新採用者6名、職員数68名)
昭和53年3月	移動用人工呼吸器ミニットマン1台購入、署に配備
6月	羽島郡危険物安全協会から携帯発電機1台寄贈を受け、川島分署に配備
10月	水槽付消防ポンプ自動車1台購入、岐南分署に配置
11月	救助隊・ラッパ隊発足 (53年中 新採用者3名、職員数71名)
昭和54年3月	航空自衛隊岐阜基地と航空事故に伴う災害発生時の連絡調整に関する協定を締結
6月	羽島郡危険物安全協会から携帯発電機・照明灯一式の寄贈を受け、柳津分署に配備
9月	(財)日本消防協会から2B型救急自動車1台寄贈を受け、岐南分署に配置
10月	消防本部・消防署の機構改革により、消防署を西消防署、岐南分署を東消防署として強化をはかる(2署2分署)
11月	水槽付消防ポンプ自動車1台購入、川島分署に配置 (54年中 新採用者4名、職員数75名)

昭和55年1月 3月 5月 6月 8月 9月 12月	<p>二代目管理者 青井逸雄退任、三代目管理者 杉山 勇就任</p> <p>指令車1台購入、西消防署に配置</p> <p>人工蘇生訓練用マネキン一式を購入し、救急講習に活用</p> <p>羽島郡危険物安全協会から携帯発電機・照明灯一式寄贈を受け、西消防署に配備</p> <p>(財)日本船舶振興会から広報査察車1台寄贈を受け、消防本部に配置</p> <p>水槽付消防ポンプ自動車1台購入、柳津分署に配置</p> <p>関係機関とガス爆発等防止対策に関する覚書を取り交わす</p>
昭和56年3月	<p>広報査察車1台購入、消防本部に配置</p> <p>自動吸引式可燃性ガス検知器2台購入、東消防署・西消防署に配備 (56年中 退職者1名、新採用者1名、職員数75名)</p>
昭和57年4月 6月 10月	<p>自動吸引式可燃性ガス検知器2台購入、川島分署・柳津分署に配備</p> <p>羽島郡危険物安全協会から油吸着マット2箱寄贈を受け、消防署に配備</p> <p>消防ポンプ自動車1台購入、東消防署に配置 (57年中 退職者1名、職員数74名)</p>
昭和58年1月 3月 4月 6月 11月	<p>(財)日本損害保険協会から2B型救急自動車1台寄贈を受け、西消防署に配置</p> <p>東消防署庁舎が都市計画街路用買のため解体移築</p> <p>羽島郡消防協会から16m/m映写機1台寄贈を受け、消防本部に配備</p> <p>音楽隊発足</p> <p>羽島郡危険物安全協会から訓練用消火器10本寄贈を受ける</p> <p>東消防署庁舎竣工</p> <p>羽島郡消防協会から東消防署訓育室用演台1台寄贈を受ける</p>
昭和59年6月	<p>羽島郡危険物安全協会からカメラ2台寄贈を受ける (59年中 新採用者1名、職員数75名)</p>
昭和60年2月 3月 4月 6月 11月	<p>消防救急一斉指令装置更新</p> <p>二代目消防長 小川義男退任</p> <p>消防長職務代理者に次長の奥村清治就任</p> <p>羽島郡危険物安全協会から指令車1台寄贈を受け、西消防署に配置</p> <p>資材搬送車(2.9tクレーン付)1台購入、西消防署に配置 (60年中 退職者2名、職員数73名)</p>
昭和61年4月 5月 6月 11月	<p>三代目消防長 清水 守就任</p> <p>各務原市と消防相互応援協定を締結</p> <p>羽島郡危険物安全協会からエア・コンプレッサー1台寄贈を受ける</p> <p>東消防署車庫増築</p> <p>羽島市と消防相互応援協定を締結 (61年中 新採用者2名、職員数75名)</p>

昭和 6 2 年	1 月 5 月 6 月 8 月	消防ポンプ自動車（CD-1 型）1 台購入、西消防署に配置 高速道路における消防相互応援協定を締結 羽島郡危険物安全協会からワードプロセッサ 1 台寄贈を受ける パーソナルコンピュータ導入 合名会社油重商店から携帯発電機 1 台寄贈を受ける
昭和 6 3 年	1 月 2 月 4 月 6 月 8 月 9 月	三代目管理者 杉山 勇退任、四代目管理者 広江泰雄就任 松波総合病院から 2 B 型救急自動車 1 台寄贈を受け、東消防署に配置 三代目消防長 清水 守退任、四代目消防長 加納清美就任 羽島郡危険物安全協会から自動紙折機 1 台寄贈を受ける 潜水用具 4 組購入 救急車室内紫外線殺菌装置スペースライザー 2 基購入、東消防署・西消防署に配備 (6 3 年中 退職者 3 名、新採用者 3 名、職員数 7 5 名)
平成 元年	4 月 6 月	水難救助用ウェットスーツ 2 着補充する 羽島郡危険物安全協会からカーエアコン 1 組寄贈を受ける (元年中 退職者 1 名、職員数 7 4 名)
平成 2 年	2 月 3 月 4 月 6 月 1 1 月	水槽付消防ポンプ自動車 1 台購入、西消防署に配置 四代目消防長 加納清美退任 五代目消防長 中山文雄就任 本部庁舎冷暖房機器更新 救助工作車 1 台購入 東消防署に配置 (2 年中 退職者 2 名、新採用者 6 名、職員数 7 8 名)
平成 3 年	3 月 6 月 1 0 月	岐阜県広域消防相互応援協定締結 羽島郡危険物安全協会からカメラ 1 台寄贈を受ける (財)日本防火協会から査察広報車 1 台寄贈を受け、消防本部に配置 (財)日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車 1 台寄贈を受け、川島分署に配置 (3 年中 退職者 2 名、新採用者 1 名、職員数 7 7 名)
平成 4 年	1 月 6 月 1 0 月	四代目管理者 広江泰雄退任、五代目管理者 岩田 哲就任 柳津分署、川島分署冷暖房機器更新 防衛施設庁補助で水槽付消防ポンプ自動車を購入、東消防署に配置 (4 年中 退職者 1 名、新採用者 2 名、派遣、職員数 7 8 名)
平成 5 年	3 月 6 月	消防庁長官表彰竿頭綬を笠松町消防団と連名で受賞する 岐阜東南ロータリークラブ、岐阜エトスロータリークラブからトヨタ 2 B 型救急自動車 1 台寄贈を受け、西消防署に配置 羽島郡危険物安全協会からワードプロセッサ 1 台寄贈を受ける (5 年中 退職者 1 名、新採用者 5 名、職員数 8 2 名)

平成 6 年 3 月	羽島郡消防事務組合例規集整備 岐阜県防災ヘリコプター応援協定 五代目消防長 中山文雄退任
4 月	六代目消防長 服部不二美就任
10 月	定数条例改正 96 名 (6 年中 退職者 1 名、新採用者 3 名、職員数 84 名)
平成 7 年 2 月	本部庁舎外部改修工事
3 月	六代目消防長 服部不二美退任
4 月	七代目消防長 永井 壽就任
8 月	柳津分署下水道切替工事
11 月	西消防署内部改修工事 東消防署下水道切替工事 (7 年中 退職者 1 名、新採用者 4 名、職員数 87 名)
平成 8 年 8 月	川島分署改修工事
9 月	柳津分署屋根塗装工事 羽島郡危険物安全協会から「火の用心」懸垂幕寄贈を受ける
10 月	屈折はしご車分解整備 防災資機材倉庫 1 基購入、消防本部駐車場に設置
12 月	消防本部 2 階事務室等改修工事 (8 年中 退職者 1 名、新採用者 2 名、職員数 88 名)
平成 9 年 1 月	防衛施設庁補助で消防ポンプ自動車 (CD-1) 1 台購入、東消防署に配置
2 月	救急自動車 (2B 型) 1 台購入、東消防署に配置
3 月	七代目消防長 永井 壽退任
4 月	八代目消防長 名和式夫就任 岐阜市と人事交流 2 名
7 月	羽島郡危険物安全協会から訓練用消火器 5 本寄贈を受ける
10 月	化学消防ポンプ自動車 (II 型) 1 台購入、西消防署に配置
12 月	本部 3 階大会議室等改修工事 東消防署庁舎外壁等補修工事 (9 年中 退職者 3 名、新採用者 3 名、職員数 88 名)
平成 10 年 1 月	柳津分署外部吹付・シャッター取付工事
4 月	岐阜市と人事交流 1 名
6 月	羽島郡危険物安全協会から訓練用消火器 5 本寄贈を受ける
11 月	消防本部電話交換機工事 (10 年中 退職者 1 名、新採用者 5 名、職員数 92 名)
平成 11 年 2 月	西消防署倉庫建設工事
3 月	高規格救急車購入、東消防署に配置
4 月	岐阜市と人事交流 1 名
6 月	五代目管理者 岩田 哲退任、六代目管理者 広江正明就任
8 月	東消防署指令車購入 (11 年中 新採用者 2 名、職員数 94 名)

平成12年3月 4月	八代目消防長 名和式夫退任 九代目消防長 瀧花賢一郎就任 岐阜市と人事交流1名 川島・柳津分署に救急車配備 (12年中 退職者3名、新採用者5名、職員数96名)
平成13年3月 4月 10月	消防緊急通信指令施設導入 九代目消防長 瀧花賢一郎退任 十代目消防長 杉山義則就任 岐阜市と人事交流1名 高規格救急車購入、西消防署に配置 (13年中 退職者3名、新採用者8名、職員数101名)
平成14年 1月 3月31日	東消防署救急室設置 羽島郡消防事務組合解散 (14年3月31日 退職者1名、職員数100名)